



特別支援学校 高等部

教科「職業」について

平成29年度より福岡市立特別支援学校高等部において、卒業後の就労希望者（就労移行支援事業所も含む）については、「職業」を履修することが必修化されました。従来、各教科等を合わせた指導である「作業学習」によって「働く力」を身に付けてきましたが、より職業的態度を育成するために教科「職業」を履修することとなりました。

「職業」の履修が始まって1年、福岡市立特別支援学校高等部ではどのような「職業」の授業が行われているのでしょうか。今回は若久特別支援学校の取組の一部をご紹介します。

山本教頭先生に聞きました・・・

若久特別支援学校高等部は、現在1年生から3年生まで63名の生徒が在籍し、就労を希望している生徒も数名います。教科「職業」を履修することとなり、将来必要な働く力や生活する力について考える機会が、生徒も教師もより増えました。



山本 武志 教頭先生



福岡市立若久特別支援学校



1 若久が取り組む「職業」の学習内容 ～高等部3年生（一部抜粋）～

- ・自分や友だちのことを知ろう（良い所、苦手な所等を知る）
- ・あいさつ練習（相手の目を見て）
- ・校外実習に向けて（目標決め等）
- ・校外実習の振り返り（お礼状書き、発表等）
- ・社会人になるために（トラブルへの対処、金銭管理、職場での信頼関係について等）

2 「面接練習」

～高等部2年生～



面接練習



タブレット機器や大型テレビによる振り返り学習



高等部2年生における面接練習の一場面です。この学習では入退室の仕方、分離礼、着席、面接の応答等を練習しました。終了後は、教師による口頭での評価だけでなく、タブレット機器等を活用し、自らを視覚的に振り返り自己評価や他者評価を行ったり、教師が画像を止めて、指先や視線、姿勢等をどのようにすれば良くなるかを生徒全員で考えたりしました。

「職業」の授業で若くならでの工夫はありますか？

学年で行う「職業」もありますが、1年生から3年生までの生徒をグループに分けて、いわゆる縦割りでの「職業」の授業も行っています。

また、「職業」の授業ではありませんが、高等部生徒が小中学部の児童生徒と共に作業をする機会をつくっています。園芸班では、小学部のさつまいも苗の植え付けや収穫を一緒に行ったり、サービス班では清掃作業を一緒に行ったりしています。後輩に教えるという経験ができ、生徒の自信が高まるだけでなく、作業自体がより丁寧・正確にできるようになっています。



「職業技能指導者派遣事業」を活用した「職業」の授業

実際にパンを製造している職人の方に来ていただき、パンの製造だけでなく衛生面の大切さや販売等の知識について学んでいます。生徒全員意欲的に活動しています。

教科「職業」の導入で生徒たちの学習意欲の高まりはありましたか？

縦割りのグループで「職業」を行うことで、「あの先輩のようにになりたい」「〇〇さんが頑張るなら私も頑張ろう」と他者を意識しながら自分の力を発揮している場面が見られています。

就労を目指す生徒に「職業」の授業を通して学んでほしいことは何ですか？

自分の卒業後の姿をイメージできるようになり、働き続けるために必要な力について学び、その必要な力を身に付けてほしいと思います。



知的障がい特別支援学校高等部の教科「職業」の学習指導要領 (文部科学省 HP より転載)

1 目標

勤労の意義について理解するとともに、職業生活に必要な能力を高め、実践的な態度を育てる。

2 内容

○1 段階

- (1) 働くことの意義を理解し、作業や実習に取り組み、働く喜びを味わう。
- (2) 道具や機械の操作に慣れるとともに、材料や製品の扱い方を身に付け、安全や衛生に気を付けながら作業や実習をする。
- (3) 自分の分担に責任をもち、他の者と協力して作業や実習をする。
- (4) 適切な進路選択のために、いろいろな職業や職業生活について知る。
- (5) 産業現場等における実習を通して、実際の職業生活を体験する。
- (6) 職業生活に必要な健康管理や余暇の有効な過ごし方が分かる。
- (7) 職場で使われる機械やコンピュータ等の情報機器などの簡単な操作をする。

○2 段階

- (1) 働くことの意義について理解を深め、積極的に作業や実習に取り組み、職場に必要な態度を身に付ける。
- (2) いろいろな道具や機械の仕組み、操作などを理解し、材料や製品の管理を適切に行い、安全や衛生に気を付けながら正確に効率よく作業や実習をする。
- (3) 作業の工程全体を理解し、自分の分担に責任をもち、他の者と協力して作業や実習をする。
- (4) 職業生活に必要な実践的な知識を深める。
- (5) 産業現場等における実習を通して、職業生活に必要な事柄を理解する。
- (6) 職業生活に必要な健康管理や余暇の計画的な過ごし方についての理解を深める。
- (7) 職場で使われる機械やコンピュータ等の情報機器などの操作をする。

障がい者雇用普及促進セミナーを開催しました

福岡市役所職員向け

7月4日に福岡市職員を対象とした「障がい者雇用普及促進セミナー」を行いました。市職員の障がい者雇用の理解促進と、障がい者庁内インターンシップ事業の受入先の拡大を目的としており、今回で6回目となります。

当日は特別支援学校の見学を兼ね、福岡市立博多高等学園で開催しました。教育委員会からは「夢ふくおかネットワーク」事業の説明を行い、インターンシップの重要性を強調して協力を呼びかけました。

また博多高等学園の就労に向けた取組は生徒自らプレゼンで発表しました。人前で発表するのはとても貴重な経験となります。

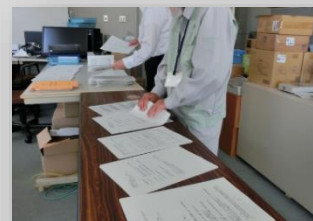
その後3つのグループに分かれて生徒たちの作業学習の様子を見学しました。参加した職員も作業学習に興味深く視察し、盛んに質問をしていましたが、案内役の生徒だけでなく、作業を行っている生徒にも抜き打ちで説明を求める場面があり、身振り手振りで一先懸命に説明する生徒の姿はとても好印象でした。



作業学習のプレゼン発表をする生徒たち。緊張しましたが、しっかりアピールできていました。

福岡市は庁内で障がい者のためのインターンシップを受け入れています

福岡市保健福祉局が推進しているのが、障がい者インターンシップ事業で、庁内の各局・区・室や外郭団体で毎年、障がいのある方の職場実習を受け入れています。対象は福岡市立特別支援学校高等部の生徒、ならびに就労を目指して福岡市障がい者就労支援センターに登録している方となっており、例年30~40件の部署や施設等が受入先として挙がっています。特別支援学校においてはまだ経験の浅い1~2年生が庁内インターンシップを体験します。実際の職場の雰囲気の中での実習は、学校では得られない貴重な経験となり、卒業後の就労に向けての指針となります。今後このインターンシップの受入先がもっと増えてくれることを期待しています。



↑資料の丁合作業。福岡市発達教育センターでのインターンシップの様子。

セミナーの受付も生徒が担当しました。慌てることなくお名前を確認して、会場へ案内することができました。



清掃・福祉班の作業を見学するセミナー参加者。業者と同じ清掃道具を使った本格的な洗車を披露しました。



参加された庁内職員の方々のセミナーの感想を一部ご紹介します。

- ◆実際に特別支援学校の生徒たちの様子を一通り見れる機会はまずないことなので、大変貴重な経験でした。この取組をより多くの人に知ってもらおうべきだと思います。
- ◆自分が高校生だった時のことを振り返っても、外部のお客様が来られた時に大きな声で挨拶する、自分からお客様をご案内する、などの応対が難しかったように思うが、博多高等学園の生徒たちはしっかりこなしていました。やはり“就労”という目的をもって日々修練している成果だと感心しました。
- ◆どの生徒さんたちも意欲的で、また笑顔で楽しそうに作業に取り組んでいて、見ているこちらまで元気をもらいました。庁内外を問わず、より多くの人に特別支援学校の生徒たちのことを知ってもらいたいです。
- ◆各作業とも就職に向けて実践的な学習をされており、生徒さんも教諭の指導を真剣に聞いていて、これなら社会に出ても通用すると思いました。

障がい者就労支援セミナー

障がい者が活躍できる福岡

～誰もがイキイキはたらける社会をみざして！～

平成30年10月12日(金) 13:30～17:00

内容 <講演会> 「エフコープ生活協同組合の障がい者雇用の取組」
エフコープ生活協同組合では誰もがいきいきと働き続けるために、障がいを正しく知り、互いを認め合う風土づくりに取り組まれています。その具体的な取組と雇用にかかわる現場の体験等をお話しいたします。

<事例報告>
障がい者雇用に一般企業に就労されている方おふたりの事例を、お仕事内容や日常生活ぶり、社会資源の活用などについてご紹介します。

参考になるお話が盛りだくさん！！
ぜひお誘いあわせのうえご参加ください！

会場 福岡市市民福祉プラザ ふくふくホール
福岡市中央区荒戸3丁目3-39

対象 障がい者雇用に興味のある企業・事業所
小・中学校・特別支援学校の保護者
関係機関
その他障がい者雇用に興味のある市民

定員 200人(先着順)

お申込み・お問い合わせ

福岡市障がい者就労支援センター
TEL (092) 711-0833
FAX (092) 711-0834
メール yume_network@city.fukuoka.lg.jp



「夢ふくおかネットワーク」

福岡市教育委員会は、企業・事業所、学校、関係機関、保護者、学識経験者等によるネットワークを立ち上げました。障がいのある市内高等部生徒の企業・事業所就職を、雇用される側(生徒)、雇用する側(企業・事業所)の両側から捉え、推進していく取組を行っています。登録いただいた企業・事業所様へは、特別支援学校に関する情報の発信、企業・事業所間での情報交換の場の提供などを行っています。

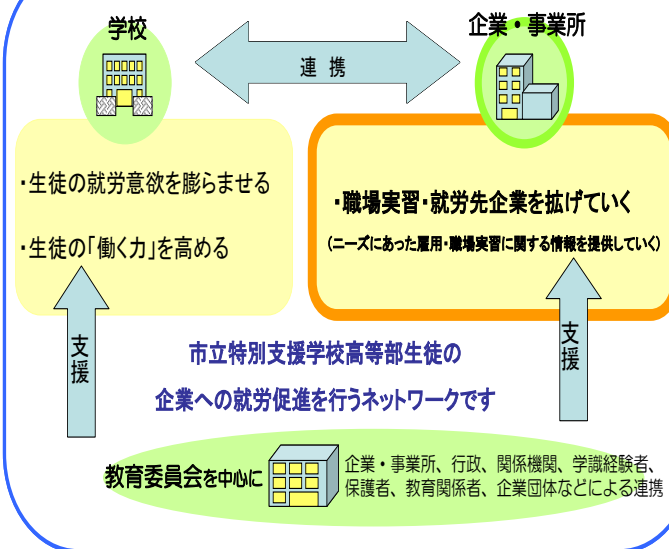
《事業内容》

- 総会(年1回) ● 会報発行(メールにて配信)
- 各種セミナー開催
- 学校見学会、雇用企業・事業所見学会等のイベント開催
- ＊ 生徒の職場実習(インターンシップ)や雇用をお考えの企業・事業所様からのご相談を受けます

＊「夢ふくおかネットワーク」登録ご希望の方は
発達教育センター就職指導員(赤松)まで

登録企業を募集します！！

「夢ふくおかネットワーク」とは？



福岡市教育委員会 発達教育センター

福岡市中央区地行浜2丁目1-6
TEL 092-845-0015
FAX 092-845-0025
E-mail hattatuc.BES@city.fukuoka.lg.jp
HP <http://www.fuku-c.ed.jp/schoolhp/hattatuc/>

「夢だより」についてのご感想、ご意見などをお寄せください。
※左記参照

